

高田松原地区震災復興祈念公園が持つ機能とゾーンの考え方

I. 祈念公園に求められる役割・機能及び効果

(1) 犠牲となった全ての生命への追悼と鎮魂

- ① 生命(いのち)の尊さを問い続ける
- ② 壊滅的被害を記録し、記憶を継承し、教訓を伝える
- ③ 復興への想いを国内外に発信する

(2) 自然環境と地域の再生

- ① 350年の歴史をもつ高田松原を再生する
- ② 古川沼をはじめとする自然とのふれあいを再生する
- ③ 津波防災文化をテーマに交流拠点を再生する
- ④ 祈念公園と連携してまちの賑わいを再生する
- ⑤ 祈念公園での市民参画が地域コミュニティの再生に貢献する

II. 祈念公園の機能とゾーンの考え方

	機能	ゾーン (案)	導入施設 (案)
<p>高田松原地区震災復興祈念公園</p> <p>↑</p> <p>祈念公園に求められる役割</p>	<p>失われた生命への『追悼』と『鎮魂』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鎮魂、津波被害の記憶 ○ 国内外への情報発信 	<p>震災メモリアルゾーン</p> <p>大震災と津波の甚大な被害を後世に伝える被災施設(タピック 45 や奇跡の一本松等)の活用し、大震災の記録と教訓を国内外に発信し後世に継承するゾーン。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害遺構 (タピック 45 等) ○ 奇跡の一本松
	<p>生きている生命による『復興』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 賑わい・交流の復興 ○ コミュニティの再生 	<p>復興シンボルゾーン</p> <p>津波防災文化をテーマとした研究や交流や公園と連携したまちの賑わいを、復興のエネルギーとして発信するとともに、震災復興のシンボルとなるゾーン。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波防災教育(研究・伝承)施設 (交流拠点) ○ 芝生広場 (交流広場)
	<p>新たな生命を育む『自然再生』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 松原再生、砂浜再生 ○ 自然の再生・創出 ○ ふるさとの風景の再生 	<p>高田松原ゾーン</p> <p>市民の手による高田松原の再生への取り組みを推進し、白砂青松の風景と賑わいを再生するゾーン。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 松原、海浜 (防潮堤・海岸防災林(防潮堤背面盛土))
	<p>ふるさとの水辺創出ゾーン</p> <p>全国的にも希少な汽水域を有する水辺環境等、自然の再生力への理解を促す、陸前高田の風土を創出するゾーン。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと生命の森 ○ ふるさと生命の水辺 (修景池(古川沼)) 	
<p>公園緑地として求められる役割</p>	<p>休養・レクリエーション・便益等</p>	<p>来園者を迎えるエントランスとしての機能の他、利用者への便益サービスや管理拠点となる機能。機能に基づく諸施設は上記の各ゾーンに含有。</p>	
<p>防災の視点から求められる役割</p>	<p>津波防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 津波エネルギーの減衰と避難路 	<p>津波到来時における津波エネルギーの減衰や避難路等、津波防災等の機能。機能に基づく諸施設は、上記の各ゾーンに含有。</p>	

※「東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術指針」には、復興まちづくりにおける公園緑地等の計画において、災害対応の機能のみならず、平常時における公園緑地の機能面の必要性に留意することが示されている。高田松原地区震災復興祈念公園においては、平常時における「公園緑地として求められる役割」と「防災の視点から求められる役割」をも踏まえて機能とゾーン・導入施設(案)を抽出した。